

1. 「民間活用（川崎版PPP）推進方針」における協働連携事業等のレビューについて

令和2年3月に策定した本方針において、「6 確実な公共サービスの提供のためのモニタリング等に関する基本的な方針」を定めており、その中では、「公共サービスの質・安全性（継続性）の確保」や「次期取組等に向けた必要な見直しを行うための状況把握」を目的として、以下に示すモニタリング等の取組を進めることとしている。

多摩スポーツセンターや学校空調をはじめとするPFI事業などについては、民間活用推進委員会において令和2年度から事業終了時の総括評価を実施している。

一方で、協働連携事業等については、「レビュー」と位置づけ、取組の効果が得られているかなどについて定期的に確認することとしている。

事業内容	取組内容
多様な主体と行政が協働で取り組む事業（協働連携事業等）	監視的なモニタリングではなく、より良い事業の実現に向けて、取組による効果が得られているか、改善する余地が無いかについて、定期的に確認し合う。 ⇒以下、この行為を「レビュー」と定義する。
上記以外の事業（民間によるサービス提供）	より良い事業の実現に向けて、民間により提供される公共サービスの履行状況を監視・確認し、必要に応じて指導・助言する。 ⇒以下、この行為を「モニタリング」と定義する。
	モニタリングの結果を踏まえ、事業目的や水準の達成度を測り、達成度に応じたインセンティブ（ディスインセンティブ）の付与や未達成事項への改善について、指導・助言する。 ⇒以下、この行為を「評価」と定義する。

2. 本市における民間等との連携状況について

令和2年度に、今後の民間企業等との連携強化を図ることを目的に、本市が締結している協定及び覚書等のうち、「民間企業等との協働によって地域課題の解決を図ることを目的とした協定」に関する状況を調査し、その傾向の把握及び分析を実施した。

（1）協定締結数

年度	H28	H29	H30	R01	R02
締結数	225	315	360	388	392

平成28年度から29年度で90件増加しているのは、平成28年4月に発生した熊本地震を契機とした、主に防災関係協定（災害時の救援物資等に関する）の増加によるもの。また、近年増加傾向にあるのは、SDGsの取組の拡大に伴う、主に高齢者見守り関係協定等の増加によるものと考えられる。

（2）協定内容（令和2年度協定）

①協定種別（392件の内訳）

協定種別	件数（%）	内容
個別協定	220（56.1%）	個別事業の実施等に係る協定 例：川崎市地域見守りネットワーク事業（神奈川東部ヤクルト販売株式会社）
災害時協定	161（41.1%）	災害時の連携等に係る協定 例：災害時におけるヘリコプター臨時離着陸場としての施設使用承諾書（(株)よみうりランド）
包括協定	11（2.8%）	様々な地域課題などに対して、包括的に協力することを定めた協定 例：地域活性化包括連携協定書（(株)セブン-イレブン・ジャパン）

②カテゴリ ※カッコ内は災害協定数及びカテゴリに占める災害協定の割合

カテゴリ	該当数		割合		主な協定内容
生活・福祉	154	(74)	39.3%	(48.1%)	被災者支援、高齢者見守り
広報・通信	34	(17)	8.7%	(50%)	市政情報提供、イメージアップ
環境	32	(9)	8.2%	(28.1%)	災害廃棄物、脱炭素、環境保全
緊急	26	(26)	6.6%	(100%)	避難場所確保
医療・健康	25	(14)	6.4%	(56%)	災害医療、健康づくり
情報収集・活用	21	(19)	5.4%	(90.5%)	緊急時の個人情報利用
産業振興	16	(0)	4.1%	(0%)	中小企業支援、製品開発
地域振興	15	(0)	3.8%	(0%)	町内会支援、特定地域の活性
研究開発	14	(0)	3.6%	(0%)	産官学協働
スポーツ	11	(0)	2.8%	(0%)	民間施設活用、オリパラ関連
包括協定	11	(0)	2.8%	(0%)	
人材育成	8	(0)	2.0%	(0%)	企業への派遣
交通	8	(2)	2.0%	(25%)	コミュニティ交通、災害対応
防災・消防	7	(0)	1.8%	(0%)	防災啓発
文化・芸術	6	(0)	1.5%	(0%)	イベントの共同実施
防犯	4	(0)	1.0%	(0%)	防犯パトロール
合計	392	(161)	100%		

・全体の約4割が「生活・福祉」に関する協定であり、主に被災者支援や高齢者見守りに関する内容であり、相手方は既存業務との親和性の高い配達業や不動産業等が多い

・災害時協定の割合が多いのは「緊急（100%）」「情報収集・活用（90.5%）」で、相手方は、津波時の避難場所確保や帰宅困難者受入の観点から商業施設や大規模な土地を所有する臨海部の企業等が多い。

3. 調査や現状を踏まえた検証

【協定締結による取組によって広く得られた効果】

(1) イオン（株） 平成25年7月9日協定締結

- ・「川崎きらり☆WAONカード」の発行
協定に基づく川崎オリジナルの電子マネー。利用金額の0.1%を川崎市文化振興基金に寄付。
- ・子育てイベントの実施
イオン新百合ヶ丘店フロアの子どもの遊び場にて、区内保育園等が連携をし子育て支援を目的としたイベントを実施し、区内保育園担当者の実践の場にもなっている。

(2) 三菱ふそうトラック・バス（株） 平成30年3月9日協定締結

- ・省エネルギー化・地球温暖化対策へ向けたイノベーションの推進
EVごみ収集車の活用による事業モデルの構築に向けた実証実験の実施等
- ・安全・安心のまちづくり
関連施設の一時避難所活用や所有する資源などの災害時利用
- ・地域との連携・子どもたちを地域で支える環境づくり
小中学校への環境配慮技術・ものづくり技術などに関する学習支援

(3) 富士通（株） 平成26年2月19日協定締結

- ・ビッグデータ・オープンデータの活用に関する調査・研究
SNS情報から川崎市のイメージを分析した総合計画策定への活用やかわさき子育てアプリの実証実験の実施（麻生区）
- ・出前授業や職場体験の実施
「富士通レッドウェーブ」によるバスケットボール教室、「富士通フロンティアーズ」によるアメリカンフットボール体験教室を市内小学校向けに実施している。

【協定締結による取組の課題】

(1) 協定の実効性

- ・協定を締結したものの、取組がとん挫し、その後も敢えて協定破棄をする必要性に乏しいため、実効性の低い協定が存続している。
- ・協定締結後に協定先が提示した具体の支援内容では、庁内のニーズに十分に答えきれない

(2) 双方の考え方に相違がある

- ・協定に基づく依頼をする際の業務に係る費用の取り決めが進んでいない。
- ・複数団体の協定であるため、各団体の意向や立場の相違により意思統一に時間を要している。

(3) 協定締結後の状況の変化

- ・取組の推進により、協定先のマンパワーではこれ以上の対応が難しくなりつつある。

(4) 協定期間

- ・期間を定めない協定が多く、長期間具体的な取組がないが協定は存続している状態となる。

4. 民間企業との連携協定の見直し事例

セブンイレブンの協定内容の見直し

- 協定名：「川崎市と株式会社セブン-イレブン・ジャパンとの地域活性化包括連携協定」
- 締結日：平成21年9月17日協定締結
- 見直し内容（令和2年）
ポスター掲示やチラシ・市政だよりの配架について、セブンイレブンの郵送料負担で実施していたが、郵送料負担を見直したいとの要望があり、改めて関係局との調整を進めた結果、市政だよりの配架を中止とし、市の郵送料負担を条件にポスター掲示とチラシ配架のみ継続することとなった。
現在、食品ロスに向けた取組を行うため、環境局と調整中。市内店舗でのペットボトル回収機の設置、商品の手前どりの促進について検討を進めている。



ペットボトル回収機



商品を手前からとることで食品ロスを減らす

5. 協定内容の枠を超えた取組事例

第一生命の協定内容を柔軟にとらえたマスクの寄贈

- 協定名：「川崎市と第一生命保険株式会社とのがん啓発・がん検診の受診率向上及び健康づくりに関する包括的連携に関する協定」
- 締結日：平成26年10月29日締結
- 見直し内容（令和2年）
第一生命と本市との協定内容は、主に健康増進に関するものであったが、新型コロナによりマスク不足が深刻化する中、企業側の発意によって令和2年5月にマスクの寄贈を受けることができた。
こうしたつながりから、本市が主催する「川崎プロボノ部」への参加を生むなど、協定の範囲に必ずしもとらわれず、柔軟な連携を行っている。



マスク 10,000 枚の寄贈



市民活動団体等の運営上の課題をボランティアチームと一緒に解決する社会貢献活動

6. 今後の取組

(1) 協定状況調査の実施

毎年、全庁的な協定の状況調査を実施し、協定等に基づく取組の実施状況を確認することで、社会状況の変化等も踏まえながら課題の抽出・分析等を行い、今後の改善に向けた取り組み等につなげる。

※調査項目は、協定項目や連絡体制の他、取組の成果及び課題、今後の方向性等を想定。

(2) 新規協定への調査成果反映

判明した課題等を踏まえ、協定を新規に締結する際には、所管部署と連携調整し、必要性・内容の明確化・適切な期間設定の考えなどを整理し、実効性のある協定締結に向けた調整を図る。

(3) 既存協定の内容の見直し検討

協定状況調査に基づき調査内容を庁内共有することで、各所管課による既存協定の内容改善の検討につなげていく。

